

目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案に対する  
パブリックコメント実施結果

平成28年3月

目 黒 区



# 目 次

## I パブリックコメントの実施結果について

1	パブリックコメントの概要について	1
2	パブリックコメントの集計結果	2
	（1）提出者数	2
	（2）分野別意見数	2

## II パブリックコメントの内容と検討結果について

1	パブリックコメントの検討結果一覧	3
2	目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案に対する意見と検討結果	4

## I パブリックコメントの実施結果について

### 1 パブリックコメントの概要について

目黒区まち・ひと・しごと総合戦略の策定にあたり、素案を公表した段階の平成27年12月15日から平成28年1月22日まで、素案に対するご意見を募集しました。平成21年2月25日制定の「目黒区パブリックコメント手続要綱」に基づくパブリックコメントとして実施したものです。

お寄せいただいたご意見については、できるだけ計画に反映できるよう努めました。この冊子は、お寄せいただいたご意見と、それに対する検討結果をまとめたものです。

なお、ご意見は、原則として全文を掲載していますが、長文にわたるものや多岐にわたるものについては、趣旨を損なわない範囲で一部省略、要約または分割している場合があります。

## 2 パブリックコメントの集計結果

### (1) 提出者数

ア パブリックコメント	書面	FAX	メール	計
個人	1	2	4	7
団体	0	0	1	1
議会	1	0	3	4
計	2	2	8	12
イ 説明会				2
合計				14

#### 【パブリックコメント募集】

- 募集期間： 平成27年12月15日～平成28年1月22日
- 周知方法： めぐる区報（12/15号）  
目黒区ホームページ  
周知用チラシ  
まち・ひと・しごと創生懇話会（平成27年12月18日実施）  
区民説明会（平成28年1月9日実施）

#### 【職員意見募集】

#### 【参考】パブリックコメントとして取り扱わなかったもの

理由	提出者数
期限後提出	1
計	1

### (2) 分野別意見数

分野別集計		パブリックコメント	説明会意見	合計	割合
地方創生全般		3	0	3	5.9%
総合戦略	全般	9	0	9	17.6%
	基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	17	4	21	41.2%
	基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	9	0	9	17.6%
	基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す	6	0	6	11.8%
	その他	0	0	0	0.0%
人口ビジョン		1	0	1	2.0%
意識調査		0	0	0	0.0%
その他		2	0	2	3.9%
合計		47	4	51	100.0%

## Ⅱ パブリックコメントの内容と検討結果について

### 1 パブリックコメントの検討結果一覧

番号	内容	パブリックコメント	説明会意見	合計	割合
1	意見の趣旨を踏まえて素案を修正します。	2	0	2	3.9%
2	意見の趣旨は素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	9	0	9	17.6%
3	意見の趣旨は取り上げないが、事業実施等の中で趣旨を踏まえて努力します。	11	0	11	21.6%
4	意見の趣旨は、今後の検討・研究の課題とします。	13	0	13	25.5%
5	意見の趣旨に沿うことは困難です。	7	0	7	13.7%
6	意見の趣旨を関係機関・団体に伝達します。	0	0	0	0.0%
7	その他	5	4	9	17.6%
	合計	47	4	51	100.0%

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
1001	01	個人	書面	<p>私は精神障害者で、生活保護を受けて生活しています。大家も80歳を過ぎて老人ホームに入ってしまった、管理する人はいません。大家がもし亡くなったら、多分このアパートは壊すのではないかと思います。そういう時、私はどうしたら良いのでしょうか。</p> <p>私は、目黒でヘルパーさんや訪問介護の人に来てもらっています。他の区に移るのは困ります。まして精神障害者だとわかったら、アパートを貸してくれないところがあるでしょう。住み慣れた地域で生活し続けるため、これからどのようにしていったら良いのか不安です。</p>	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	生活福祉課	7	住み慣れた地域で、安心して生活を続けられるように、必要に応じて、個別に対応してまいります。
1002	01	個人	メール	<p>私の住んでいます目黒川周辺や自由が丘など、街中などに歩行喫煙禁止の表示がありますが、まさに有名無実です。歩行喫煙者が大変多く保育園や幼稚園の送迎、妊婦さんなども多く見かける中、本当に気になります。</p> <p>まずは、中目黒駅周辺や目黒川沿いなどでは歩行喫煙ができないような宣伝活動をしてはいかがでしょうか。ルールを守れる大人、ポイ捨てをしない大人が集まれる街を目指しませんか。</p> <p>罰金制度や見回りのある区もあると思います。みなさんに認識して頂き安心してお買い物やお花見などができる気持ちの良い街にしたいと思っています。</p>	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	環境保全課	3	<p>目黒区では、「目黒区ポイ捨てなどのないまちをみんなでつくる条例」により、区内全域で吸い殻等のポイ捨てや歩行喫煙を禁止しています。</p> <p>また、「めぐろたばこルール」(①たばこのポイ捨てや歩きたばこは区内全域で禁止、②路上喫煙禁止区域内では指定喫煙所以外の路上での喫煙は禁止、③指定喫煙所では灰皿周辺のエリア内で喫煙する)の周知によって、喫煙マナーの向上を促すことで、ポイ捨てや歩行喫煙をなくしていくことを目指しています。</p> <p>今後も、パトロールやキャンペーンなどにより、ポイ捨てや歩行喫煙などの禁止、喫煙マナーの向上について、さらに周知を進めてまいります。</p>
1003	01	個人	メール	<p>1 総論</p> <p>(1)総合戦略策定素案についてコンサル会社へ全委託の仕様書を拝見しました。住民説明会のセット、議事録作成までを委託する仕様書でした。</p> <p>内閣府では、委託を否定はしていませんが、住民参画の元で策定していくのが原則です。先にワークショップ等で区民の意見を吸い上げて委託すべきではなかったでしょうか。</p> <p>おそらく審議会で区民の意見を反映かと思いますが、委員の選定等が公開されておらず不透明と思います。</p>	地方創生全般	政策企画課	4	<p>地方版総合戦略の策定にあたっては、産官学金労言(産業界、地方自治体や国の関係機関、大学等の高等教育機関、金融機関、労働団体、メディア)から広く意見を聴取することが国から示されました。本区においても、区内にある大学等、本区に關係する各種団体から推薦をいただいた委員を構成員とする目黒区まち・ひと・しごと創生懇話会を設置し、会議録等の資料も公表してまいります。また、素案については、本年1月に区民説明会を実施するとともに、パブリックコメントを実施し、広く区民の皆様の意見を募集したところです。</p> <p>区民意見の反映の方法は、様々な手法がありますが、今回は以上のような手法を選択いたしました。</p> <p>例えば、公園については、計画段階でワークショップ方式を取り入れていますので、これらの実践を蓄積し、適用分野の拡大について、今後も調査研究をしてまいりたいと思います。</p>

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
1003	02	個人	メール	(2)委託業者について、電機メーカーの関連コンサルティング業者が落札していたように思います。業務内容的にはシステムコンサルが中心で、まちづくり、地方創生の計画策定に関与するには専門性が乏しい業者のように思います。要件に照らして業者決定の過程について詳らかにすべきと考えます。	その他	政策企画課	7	地方版総合戦略等策定に関する調査・分析業務委託にかかる事業者については、4月9日～4月23日にプロポーザル(提案)方式により公募し、選定委員会を設置して事業者を決定しました。また、公募から事業者決定までの経過は、一定期間、区ホームページで公表しました。
1003	03	個人	メール	(3)最近流行のカタカナ用語を多用されていますが、中身が伴っていないのと、区政全般を見た場合、用語に引っ張られたアンバランスな感じを受けます。流行の言葉が踊ったような中身ではなく、政策全体として何が必要かを考え、キチンと論理的に政策を組み立てるべきです。その後に必要に応じて流行のカタカナ用語を入れていくべきです。	地方創生全般	政策企画課	7	文書は、分かりやすい表記であることが必要です。このため、外来語については、できる限り分かりやすく言い換えるようにしていますが、新たな概念等については、日本語表記にするとかえって分かりにくくなる場合があります。文書表記については、できるだけ分かりやすくなるよう今後とも努めてまいります。
1003	04	個人	メール	(4)内閣官房で公開しているRESAS(地域経済分析システム)が使われていないように思います。総合戦略を含め、使用されると良いのではと思います。	地方創生全般	政策企画課	4	ビックデータを活用し、産業、観光、人口等を分析するRESAS(地方経済分析システム)は、国が提供する非常に有効なツールと認識しています。総合戦略の策定にかかわらず、どのように活用できるか今後とも調査・研究してまいります。
1003	05	個人	メール	2 目黒区人口ビジョン素案について (1)重要な基礎データと思います。将来人口の推計については、現在の案では検証が不可能なデータ提供となっています。第三者に検証いただく必要があるように思います。また、推計の具体的手法について、区民が検証可能なように具体的算出方法は掲載すべきではないでしょうか。	人口ビジョン	政策企画課	5	人口ビジョン素案の人口推計のパターン1、2は、国勢調査のデータを使用するとともに、国の手引きに沿った推計(コホート要因法)を行っています。区の独自推計であるパターン3、4は直近の人口動向を反映させるため住民基本台帳の数値を使用し、直近の合計特殊出生率や仮定値である希望出生率を使用していますが、推計方法はパターン1と同様です。 推計の概要は、素案に記載しましたが、詳細についてはページ数が多くなってしまうため省略いたしました。人口推計などのデータの公表方法については、課題として受け止めさせていただきます。
1003	06	個人	メール	3 目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案について (1)P7から、既存事業が延々と並びます。新規事業も一部ありますが、非常に分かりづらいです。どのような観点で新規施策を仕組むか、また既存事業を継続させるかを記載し、その上で別表としてまとめるのが良いのではないのでしょうか。まとめも四角囲みで施策毎にあります、非常に短く、全体像が掴みにくいです。	【総合戦略】全般	政策企画課	1	ご意見を踏まえ、施策体系に沿った実施事業の一覧を追加しました。



整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
1003	07	個人	メール	(2) 主な事業の施策毎に事業スケジュールがありますが、検討と実施しか記載がない状況です。こうしたスケジュールはあまり意味をなしません。もう少し細かな目標設定を明確にし、何をいつまでにどのように行うか等をスケジュールに記載すべきです(キチンとした行程表にすべきです)。	【総合戦略】全般	政策企画課	5	事業スケジュールについては、総合戦略という位置づけを踏まえ、大まかなイメージのみの記載に留め、簡単で分かりやすい表記とすることとしました。
1003	08	個人	メール	(3) 個別事業には事業概要がありますが、戦略である以上、それぞれの事業が、どのように全体目標に向け関与するか、貢献するかを記載すべきです。P7以降は、各部の事業を束ねたものにすぎないのではないのでしょうか。	【総合戦略】全般	政策企画課	4	総合戦略の素案では3つの基本目標を掲げるとともに、それぞれの基本目標を実現するために取り組む施策と事業を体系化しています。
1003	09	個人	メール	(4) KPIの設定は良いことと思いますが、その目標は妥当なものでしょうか。目標値が低すぎるように思います。その設定の根拠を示すべきです。また、その目標に対し、各事業がどのように貢献するのが不明です。	【総合戦略】全般	政策企画課	4	KPIについては、各施策や事業に関する需要調査や補助計画等に基づいて設定しています。計画期間内に実現可能な目標としました。
1004	01	個人	FAX	基本目標1の施策1(4)安定した住まいの確保について、目黒区行政としての具体的対策を立てて実行して下さるよう期待し、注目したいと思います。 案として、2例挙げておきます。 1. 区営の住居があると聞いたことがあるのですが、それを拡充して入居者を増やす。 2. 目黒区内の医療、介護、保育園、学童保育、児童館などで働く人を優先して、家賃の補助を支給する。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	住宅課	4	区営住宅については、目黒区住宅マスタープランで定めた目標値にそって整備を進めております。 また、目黒区では、民間賃貸住宅に居住する高齢者・障害者世帯が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、また、子どもを育成する世帯の家賃負担が軽減されるよう、家賃助成を行っており、現在の制度を充実させることに優先的に取り組んでいきたいと考えています。

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
1005	01	個人	FAX	「基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる」、この目標は区民の総意と理解しています。素案の内容としても若い世代への事業が複数新たに計画されたことは嬉しいことです。しかし、保育に関してはもう少し配慮をお願いします。特に、民営化に関しては不安しか生んでいません。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	保育計画課	3	保育園の民営化は、老朽化した施設の更新に国等の補助金が活用できるとともに、民間事業者が運営することにより、運営費にも国等の補助金を充てることが可能となることから、限られた財源を有効に活用するためには必要なものと考えております。 認可保育園については、民間法人が運営する場合であっても、国や都の認可基準に加えて、区でも様々な保育の質の確保・向上のための対応を取っており、特に区立園からの民営化にあたっては、公立園として培ってきた保育内容を引き継ぎることができるよう取り組んでいます。 今後とも、民営化の実施にあたっては、保護者への説明や事業者への引継ぎを丁寧に行い、不安を生じることがないように進めていきます。
1005	02	個人	FAX	「基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す」は、希望している人が多いことでしょう。そこで提案です。駅や街角に案内板をお願いします。特に、公的な施設はわかりやすく表示していく必要を感じています。表示は、多言語・絵画的表示など工夫してください。	【総合戦略】基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す	文化・交流課、都市計画課	2	国内外からの来訪者の方々が、快適に目黒のまちの魅力を楽しんでいただけるように、案内板の設置や多言語対応等わかりやすい情報提供について努めてまいります。
1006	01	団体	メール	この素案が、果たして、総合戦略素案でしょうか？目黒に住む住民にとっては、従来からの当然の課題ではないかと考えます。本当に必要なのは、どのように具体的に対応できるように実行するかということです。	【総合戦略】全般	政策企画課	7	総合戦略素案では、人口減少社会においても、本区が今後とも活力あるまちであり続けるため、結婚・出産・子育てがしやすい環境の整備や高齢者・障害者等が安心して暮らし続けられる環境の整備などに取り組むことを数値目標やKPIとともに掲げています。具体的には、総合戦略素案に掲げた各事業を効果的・効率的に実施し、施策の展開を図っていきながら、基本目標の実現を目指していきます。

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
1006	02	団体	メール	住居費などが高くなり、その面では決して住みやすくないのが目黒区です。それでも、住み続けるには、安心して結婚・子育てができる具体的な条件整備が不可欠です。同時に、住み続けるには、年をとっても安心して暮らせる具体的な施設や仕組みが必要です。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	高齢福祉課、子育て支援課	3	子育てのための居住環境の確保については、目黒区子ども総合計画で施策に掲げており、計画的に取り組んでまいります。 高齢者については、認知症や介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で安心して暮らし続けられるよう、引き続き、在宅サービスの充実及び施設の整備など介護サービス提供体制の充実を図ってまいります。
1006	03	団体	メール	本当に必要なのは、戦略よりも、戦術というか、具体的にどのように対応するかということにつきるわけですが、目黒区には本気で取り組んでほしいと思います。	【総合戦略】全般	政策企画課	2	基本計画や様々な補助計画との整合性を図りながら、計画的に取り組んでまいります。
1006	04	団体	メール	「子どもの貧困」は大きな問題ですが、「まち・ひと・しごと」の中で、ぜひ、取り組むべきではと考えます。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	生活福祉課、子育て支援課、学校運営課	3	子どもの貧困対策については、目黒区子ども総合計画で施策に掲げており、国や都の動向を見ながら区としての具体的な取組内容を検討、実施してまいります。
1007	01	個人	メール	目黒区には東京オリンピックに向けて、暑さ対策として街路樹の整備をすることを希望します。 今から植えても十分成長する樹もあります。街並みやショップなども魅力的な目黒が大都会でありながら美しいみどりの茂る、涼しいまちとして全国・世界へアピールするんだというくらいの意気込みを持って欲しいです。ミストで気温を下げるなんて事をして欲しくありません。 東京オリンピックをきっかけにみどりのまちづくりをすすめるのが良い機会だと考えます。	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	土木工事課、みどり公園課	3	本区では、目黒区みどりの基本計画及び目黒区生物多様性地域戦略の中で、道路緑化を推進することとしています。街路樹は、歩車道が分離された歩道内で歩行者が安全に通行できる幅員が確保できる場合に整備しています。区内の既存の道路は幅員が狭く、新たに街路樹を整備することが困難な道路が多いのが現状ですが、可能な場所では低木等による緑化を行っています。今後も、道路環境の変化等の機会をとらえて道路の緑化を行い、みどりのまちづくりを進めていきます。
1008	01	個人	メール	施策1 仕事と結婚・子育てを両立できる環境づくり (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ワーク・ライフ・バランスの推進にあたっては、就業時間を8時～4時にするなどし、それに対応して保育園は7時～5時の開園とするなどの国を挙げての変革が望まれます。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	人権政策課	7	ワーク・ライフ・バランスの推進には、労働者自身がワーク・ライフ・バランスの視点を持つことも必要ですが、従業員のワーク・ライフ・バランスを可能にするとともに、多様な働き方を選択できる職場環境づくりを事業者が行うことが大事であると考えます。このため、区としても事業者の取組を支援する事業を実施してまいります。

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
1008	02	個人	メール	<p>施策2 多様な子育て支援の環境づくりと待機児童対策の推進            保育園への入園が困難なことが、出産をためらう要因の一つになっています。保育園を思い切って沢山作ってください。国立大学や国立病院等と連携して保育園を作る等の柔軟な発想で保育所の用地を確保するなど、保育所不足にならない施策をしてください。</p> <p>病児保育、緊急一時保育の拡大等、家庭にいる子どもも必要に応じて預けられる環境を作ってください。</p>	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	保育課	2	<p>待機児童の解消については、喫緊の課題と認識して取り組んでいます。</p> <p>保育所整備のための用地の確保については、まずは、区有施設や区有地を対象にして活用を検討しており、中学校跡地や小学校の校舎を活用した保育所整備を進めています。</p> <p>「目黒区子ども総合計画」では病児保育、緊急一時保育の拡大についても検討していくこととしています。また、一時保育は私立認可保育園の開設に合わせて毎年1施設・定員4名増を計画しています。</p>
1008	03	個人	メール	<p>基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す            施策1 個人・企業の意向に沿った就労・雇用の支援            (2)若者・女性、高齢者、障害者の就労支援            ただ講座を開催するだけでなく、新たなネットワークを作る試みをしてください。</p>	【総合戦略】基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す	人権政策課、産業経済・消費生活課	3	<p>雇用に係る情報交換を目的に、目黒区雇用問題連絡会議を開催し、福祉部門の所管を含めた区とハローワーク渋谷、品川労働基準監督署との連携を図っています。また、東京都が設置した東京しごとセンターの情報交換会に参加したり、マザーズハローワーク等と連携し、就労に必要なスキルや就職活動のコツなどを学ぶ機会を提供するとともに、実際の求人情報も提示し、スキルアップだけでなく就労につなげる取組を行っています。</p> <p>引き続きハローワーク渋谷マザーズハローワーク等と協力・連携し、様々な就労希望者の動向把握や情報交換に努めながら事業を実施してまいります。</p>
1008	04	個人	メール	<p>施策3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたにぎわいの創出と多文化共生の環境づくり            「おもてなし」プログラムへの取組について、目黒区は案内板が少なく、外来者には不親切に思われています。是非、誰にもわかるように駅や交差点、道路、信号機の下、建物の壁等には案内板を設置してください。避難所の案内も必要です。全てに最低でも英語の併記が必要です。それが何よりの「おもてなし」だと思います。</p>	【総合戦略】基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す	防災課、文化・交流課、都市計画課	2	<p>国内外からの来訪者の方々が、快適に目黒のまちの魅力を楽しんでいただけるように、案内板の設置や多言語対応等わかりやすい情報提供について努めてまいります。</p> <p>また、避難所の案内標識は区内161箇所に設置しており、全て英語標記及びピクトグラムを表示してあります。標識の増設については、設置場所の物理的な状況等を勘案して検討してまいります。</p>

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2001	01	議会	メール	人口ビジョン及び総合戦略策定にあたり、「結婚・出産・子育てに関する意識調査」を実施し、その調査結果をもとに希望出生率1.50を実現するため、3つの基本目標とそれぞれ3つの目標を実現のための施策が盛り込まれた点は評価する。しかし、具体的な施策については、従来施策の延長線上から脱し得ないと感じる。大胆な発想の転換が必要と考えるが見解を伺う。	【総合戦略】全般	政策企画課	4	まち・ひと・しごと総合戦略は、各分野別の計画との整合性を図りながら計画期間を27～31年度とする計画です。素案では、ワーク・ライフ・バランス推進のための事業者への専門家派遣、子育て支援施設を利用者したい方への情報提供・相談支援、障害のある者となない者が共に学ぶ仕組みづくりなど、14の新規事業を盛り込みつつ、既存事業を含め課題解決のため着実に施策を展開する計画としました。
2001	02	議会	メール	【基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる】  希望出生率1.50を実現するという高い目標を達成するには、結婚に対する支援が必要であると考え。特に本区は、女性の生涯未婚率が22.8%と全国平均の2倍以上となっており、やはり婚活事業など積極的な支援を実施するべきである。また、実施が困難であれば、せめて区内商店街など各種団体が婚活事業などを実施する場合は、区としても助成などの支援が行えるよう検討すること。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	政策企画課、産業経済・消費生活課	4	結婚に関する事業は、既に多くの民間事業者が行っており、行政が直接行う必要があるかどうかは、その効果を含め慎重に見極める必要があります。 また、事業者の後継にかかると課題の解決の観点から東京商工会議所や業界団体で結婚につながる事業などの取組があると聞いています。機会をとらえて把握には努めてまいりたいと考えます。
2001	03	議会	メール	晩婚化、晩産化がすすんでいる本区においては、妊娠、出産、産後、子育てに不安を抱えている女性も多くなっていると考える。そこで以前より会派から要望している妊娠、出産、産後、子育てと切れ目のない支援体制を拡充するために産後ケア施設や目黒版ネウボラなどの創設を行うこと。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	健康推進課、保健予防課、碑文谷保健センター、子育て支援課	3	支援体制としては、現在、産前・産後支援ヘルパー派遣事業や新生児訪問事業などを実施しており、それぞれの担当所管や窓口がこれまで以上に連携して、対象者の相談や支援に切れ目なく対応してまいります。
2001	04	議会	メール	若い世代が、住宅家賃が高い本区で結婚し、子どもを産み、育てていくには、やはり住宅施策の充実が必要と考える。今もファミリー家賃助成を実施しているが、多子世帯など子どもの人数による助成額の拡充や助成期間の延長などの大胆な見直しを検討すること。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	住宅課	2	ファミリー世帯家賃助成の充実策として平成27年度は募集数を70から90に増やし、また、抽選を行わず、応募資格のある世帯全てを審査対象としました。今後も子育て世帯への支援のため、ファミリー世帯家賃助成の更なる拡充について検討します。

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2001	05	議会	メール	働く女性が、安心して出産や子育てができるようにするには病後児保育のみならず病児保育の確保も必要である。国も本年4月より本格的に病児保育の充実支援を図るため、対象となる病院や保育所の経営安定に資する補助金の拡充に乗り出すと聞いている。これらの制度を活用し、区内の病院や保育所へ呼びかけて病児保育が実施できるよう検討すること。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	保育課	3	「目黒区子ども総合計画」では病後児保育は今後2ヶ所整備して施設数を5ヶ所とする計画です。病児保育については実施に向けた課題等を検討することとしており、国や都の補助事業の動向も踏まえて検討していきます。
2001	06	議会	メール	【基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる】  高齢者の住まいの確保については、地価の高い本区においては、なかなか計画通り進まない現状にある。そこで都市型軽費老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を整備する事業者に対して、区として独自の賃料上乗せ助成の拡充や、そういう高齢者向け居住施設の整備にあたり土地を貸して下さる所有者に対して税制面での優遇策が図られるよう東京都へ働きかけるなどの対策を検討すること。また、高齢者世帯への家賃助成の拡充や空き家を活用した住まいの確保などを検討すること。	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	高齢福祉課、住宅課	4	都市型軽費老人ホームの区独自の助成の上乗せについては、認知症高齢者グループホーム等の地域密着型サービスを併設する場合に併設加算の補助を行っています。 また、サービス付き高齢者住宅については、供給助成事業を活用し、整備・管理する事業者に対し費用の助成を行う募集を実施しています。区独自の助成の上乗せ等は、限られた財源の中での実施は難しいと思われませんが、今後の検討課題とさせていただきます。 高齢者世帯等居住継続家賃助成は、平成27年度募集世帯を80世帯に増やし、抽選は行わずに審査をして助成対象者を決定しました。 空き家を活用して高齢者のための住まいを確保できるかどうかは、空き家の実態調査をして所有者の意向を確認したうえで検討いたします。
2001	07	議会	メール	障害をもつ子どもの親が高齢化してきており、親なき後の子どもの生活を心配されている。旧第四中学校跡地を活用して障害者入所施設を整備していくと公表しているのであれば総合戦略にも障害者入所施設の整備について盛り込むこと。	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	障害福祉課	1	ご意見を踏まえて修正します。
2001	08	議会	メール	新規事業として平成28年度に空き家の実態調査を実施するとあるが、調査後については何も記載されていない。平成29年度以降からは、以前より会派が提案してきた空き家の有効利用について具体的検討を進めること。	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	住宅課	4	空き家の利活用を推進するためには、所有者の意向を確認する必要があります。実態調査の際は、空き家の状態を把握すると同時に、所有者の意向の調査も行う予定です。調査の結果を基に、今後の対策について検討を進めていきたいと考えています。

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2001	09	議会	メール	<p>【基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す】</p> <p>目黒川の桜、自由が丘の各種イベント、大橋ジャンクション屋上のめぐろ天空庭園、国の重要文化財である旧前田家本邸、村野藤吾氏設計の目黒区総合庁舎など、本区には様々な観光資源があるが、まだまだ活かし切れていないと感じる。これらの観光資源を大いに活用して国内外から人々がもっと本区を訪れるような総合ビジョンが必要である。また、海外からの訪問者を意識してWi-Fi環境の整備なども検討すること。</p>	【総合戦略】基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す	文化・交流課	2	<p>ご意見の中で指摘いただいております総合ビジョンにつきましては、区の様々な観光資源の活用により更なる魅力ある目黒区を目指すため平成27年3月に「目黒区観光ビジョン」の改定を行いました。</p> <p>今回改定した目黒区観光ビジョンに基づき様々な手法を活用しながら目黒区のまちの魅力として、観光資源の情報提供・発信に努めてまいります。</p>
2002	01	議会	書面	<p>今回の素案に記載されている目標設定値は結果(アウトプット)であり、記載すべき便益(アウトカム)ではありません。</p> <p>ポイントは、区民だけでなく実際にこの事業を行う担当者が理解しやすいものであることが重要である。理解され、具体的にイメージすることができて初めて施策が推進され、生きてくるものである。</p>	【総合戦略】全般	政策企画課	4	<p>ご意見のとおり、国においてもKPIについては、原則としてアウトカム指標を設定することとされています(P5)。ただし、実際にはアウトカム(区民にもたらされる便益)は、行政活動の結果かどうか判然としない場合もあり得ると考え、社会経済状況の変化など他の要因に影響されないよう、今回の総合戦略のKPIについては、基本的にアウトプット指標を設定しました。</p> <p>なお、KPIについては、アウトプット指標の設定も可能となっています。また、基本目標に対する数値目標については、アウトカム指標を設定しています。</p>
2002	02	議会	書面	<p>基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる</p> <p>【結婚・出産・子育て】</p> <p>①多様な子育て支援の環境づくりと待機児童対策の推進「地域の子育て支援事業への支援」について、地域の子育て支援拠点づくりに早期に着手し、地域と連携して拠点を増やしていく取組をすべき。</p>	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	子育て支援課	2	<p>民間のひろばや地域の力と協力するためのネットワークづくりと情報収集をしたうえで、状況が整えば整備の検討を行ってまいります。</p>
2002	03	議会	書面	<p>基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる</p> <p>【まちづくり】</p> <p>①高齢者、障害者が安心して暮らし続けられる環境の整備「ふれあい・交流の場の拡充」について、子育ての親子も参加できるよう工夫することで多世代交流の場とする。</p>	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	高齢福祉課、子育て支援課	3	<p>施設を整備するにあたっては、高齢者、障害者や、子育て世代等の方が交流できるような交流の場を整備していく視点も必要であると考えています。</p>

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2002	04	議会	書面	②安全・安心なまちづくり 「空家の実態調査」について、調査後の取組も検討する。売却までの暫定利用のマッチング等区民活動推進につながることは積極的に取り組むべき。	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	住宅課	4	空き家の利活用を推進するためには、所有者の意向を確認する必要があります。実態調査の際は、空き家の状態を把握すると同時に、所有者の意向の調査も行う予定です。調査の結果を基に、今後の対策について検討を進めていきたいと考えています。
2002	05	議会	書面	基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す【交流】 ①さまざまなつながりを生かした活力の創出 「産業競争力強化法に基づく創業支援の充実」について、民間の創業支援との提携も視野に入れるべき。	【総合戦略】基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す	産業経済・消費生活課	3	区が実施している創業支援関連の事業では、中小企業診断士や大学教員等の専門家や創業経験者等の力を活かした取組をしているところです。今後も、民間の多様な活力と連携等をしながら取り組んでまいります。
2002	06	議会	書面	②東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたにぎわいの創出と多文化共生の環境づくり 「おもてなしプログラムへの取組」について、国内外の来訪者は日常や歴史文化的な目黒区の魅力を満喫したいと思っている。そんな民間交流の場づくりの推進。	【総合戦略】基本目標3 新たなにぎわいの創出と多様な人と人との交流を促す	文化・交流課	2	めぐろ観光まちづくり協会や(公財)目黒区国際交流協会(MIFA)などとの連携により、外国からの来訪者も参加しやすいまち歩きツアーや交流イベントを通じて目黒区の魅力を感じてもらえるよう「おもてなし」プログラムの取組を進めてまいります。
2003	01	議会	メール	「施策1 仕事と結婚・出産・子育てを両立できる環境づくり(4)安定した住まいの確保」に、ファミリー世帯家賃助成があるが、現行の助成には所得制限や家賃制限が付いている。目黒区は安全な住宅街である一方、地価が高いため、子供が成長する段階で家が手狭となり区外転出するケースがよく見られる。また、共働き家庭は所得が高い傾向にあるので納税額も高いにも関わらず、所得制限に引っかかる。生産世代であるファミリー世帯、共働き家庭の転出を防止するため、所得・家賃制限を撤廃する代わりに、対象を区内転居助成と制限し、賃貸・購入に関わらず転居後数年間の家賃助成をされたし。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	住宅課	4	目黒区住宅マスタープランに基づき、子どもを育成する区民の居住の継続を支援するためにファミリー世帯家賃助成を実施し、充実を図ってきました。今後も更なる拡充について検討します。



整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2004	01	議会	メール	<p>区民の生活不安を払拭し、子育てができる生活の安定をもたらすために、国に以下を求めて「目黒区まち・ひと・しごと総合戦略」を作成すること。</p> <p>① 非正規雇用の拡大ではなく安定的な正規雇用の拡大と長時間労働の抜本的是正をはかる法整備を行うこと。</p> <p>② 男女の賃金格差の是正と同一労働同一賃金など低賃金を是正する法整備を行うこと</p> <p>③ 「子育てにお金がかかりすぎる」現状を打開するために、高等教育(高校・大学等)の学費無償化を進めること。有利子奨学金を是正し、無利子奨学金に切り替え、生活給付制度を創設すること。</p> <p>④ 地方版総合戦略の推進にあたって、地方自治体の取り組みを真に応援するために長期的な事業継続が図れる財政支援を保障すること。</p>	【総合戦略】全般	政策企画課	5	<p>法律の整備につきましては、国会等における審議のもと基本的には国が責任をもって制定すべきものと考えます。</p> <p>本区においては、区民に身近な基礎自治体として、暮らしの安全・安心を推進するとともに、地域で活動する多様な団体と連携・協力しながら、少子高齢化、社会保障、健康、環境、教育など様々な課題の解決に向け取り組んでまいります。また、国に対しては、財源が縮小する税源偏重是正を名目とした更なる法人住民税の国税化ではなく、特別区全体として地方税財源の拡充こそが必要であることを要望してまいります。</p> <p>総合戦略の策定にあたっては、ご意見の中にあるように、区民の生活上の不安を払拭するとともに、子育て環境を整備し、人口ビジョンで掲げた目指すべき将来の方向に向け、3つの基本目標の実現に努めてまいります。</p>
2004	02	議会	メール	<p>「人口減少社会論」を基本にした目黒区の施設改革方針を、区民の生活改善需要に立脚した施設改革方針に作り直すこと。</p>	その他	施設改革推進課	5	<p>今後、少子高齢化の進展により区有施設に対する区民ニーズなどは変化していくと考えており、そうしたニーズの変化に的確に対応していく必要があります。限られた資源の中で、できるだけサービス水準を維持しながら、財政負担を減らすために、危機感を持って、区有施設のあり方について見直しを行っていくことが重要と考えています。</p>
2004	03	議会	メール	<p>本計画で掲げている3つの基本目標は、目黒区の基本構想や現在の区民生活の現状から重要な目標であると考えます。この具体化と充実を、今回の「総合戦略」で区政全体の中心課題として真に実効あるものにすることが重要です。</p> <p>しかし、本戦略素案は、これまでの目黒区の各分野計画を再掲載し、まとめ直したものになっており、新たな具体化がなされていません。今回の計画作成にあたって独自に行った「地方創生における結婚・出産・子育てに関する意識調査」では、「地域の保育サービスが整うこと」「教育にお金がかからないこと」「働きながら子育てができる職場環境であること」が打開すべき大きな課題であることが明らかになり、「自由意見」でも「安心して子育てができる環境が急務」「少子化の原因は、子どもにお金がかかりすぎること」「3人の子どもはみな結婚していない。職場と子育ての両立は不可能」「共働き世帯は、妊娠・出産前後に収入が大きく減る。経済的支援をしてほしい」など切実な声が寄せられています。この実態をしっかり受け止め子育て支援に焦点を定めた具体化を進めるべきです。</p>	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	政策企画課	2	<p>子育て支援につきましては、素案の基本目標1「安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる」の施策2「多様な子育て支援の環境づくりと待機児童対策の推進」で認可保育所や小規模保育所の整備等のハード事業及び病後児保育や延長保育、一時保育の充実を図るソフト事業を掲げるとともに、児童館・学童保育クラブの整備や子ども教室事業の拡充のほか、30年度からの新規事業として「地域の子育て支援事業への支援」を掲げております。</p> <p>子育て支援は重要な課題であると認識していますので、限られた人材と財源を効果的かつ効率的に配分し、課題の解決に向け取り組んでいきたいと考えています。</p>

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2004	04-01	議会	メール	<p>「基本目標1安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる」について、「保育所の入所定員の増加に取り組んできましたが、保育所への入園希望はこれを上回る勢いで増えており」とありますが、現状認識が違います。2015年4月入所の待機児率が23区でワーストワンと指摘されたことを真摯に受け止め、「子ども総合計画の予想を上回って入園希望が増えている」と、「2014年度、2015年度と目黒区が計画した認可保育園建設計画の半分も進められなかった」ことを明記するべきです。また、この原因を分析して打開策を盛り込むべきです。</p> <p>基本目標1の数値目標の保育所待機児童数「平成31年度までにゼロを達成」を「平成29年度までにゼロを達成」に変えること。</p>	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	保育計画課	5	<p>就学前人口の増加については数値として現れており、特に増加率については、周辺区と比べても高い値となっています。その上で、区としては、待機児童の解消は喫緊の課題と認識して取り組んでいます。</p> <p>具体的には、27年4月の開設については、認可保育所で180人の定員拡大予定に対して、82人の拡大とご指摘のとおり半数以下となりましたが、この点については、27年中に施設規模の拡大等を図り、160人の拡大にまで取り戻しています。さらに、開設が遅れている施設についても、整備工事等を進めており、これが実現すれば、220人の拡大となります。</p> <p>また、28年度以降の計画についても、国公有地の整備については、上目黒小学校の校舎を活用した整備計画などにより、子ども総合計画上の整備数の上積みを図っています。この他にも、現在は活用計画の素案段階ですが、第四中学校跡地においては、150人規模とこれまでにない定員規模の新設園を計画しています。</p> <p>保育所の整備については、今後とも様々な区有施設及び区有地の活用を検討しており、これらの取組により、早期の待機児童解消を目指していきます。</p> <p>なお、子ども総合計画の進捗管理については、別途対応していくことを考えております。</p>

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2004	04-02	議会	メール	<p>具体的な方向として以下の内容を加える。</p> <p>① 出産しても働き続けられる環境整備を、抜本的に強化する施策を打ち出すこと。子ども総合計画の認可保育園の建設計画を見直し、区立保育園を中心にした大量建設に踏み切ること。区立保育園の廃止計画を中止すること。以上を踏まえて、子ども総合計画のままになっている重要業績評価指標(KPI)の保育園数の目標設定を見直すこと。</p>	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	保育計画課	5	<p>保育所の整備については、国の補助制度等が民間事業者の活用を想定したものとなっており、まず財政面から当区だけが区立保育園の大量建設に踏み切ることではできません。民営化についても、これを行うことにより、施設整備に国等の補助金が活用できるとともに、民間事業者が運営することにより、運営費にも国等の補助金を充てることが可能となります。</p> <p>待機児童の解消は喫緊の課題であり、さらなる拡充が必要であると認識していることから、効率的な整備及び運営をはかることにより、限られた財源の中で対策を進めていくことができるものと考えております。</p> <p>なお、保育園整備の目標数の見直しについては、現下の待機児童数等の状況から、国公有地における整備について整備計画を上回る取組を進めているところですが、今後の整備の進捗や待機児童数の推移などを踏まえて検討していきます。</p>
2004	04-03	議会	メール	<p>② 学童保育クラブの定員を超えた詰込みをやめ、施設増設を行うこと。</p>	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	子育て支援課	3	<p>学童保育クラブの利用希望者数は、偏在化及び増加傾向が見られる状況です。27年度は、待機児童を生じさせないことを最優先に、施設状況や基準を踏まえながら、施設整備や運営方法の工夫等により暫定的な受入れを実施いたしました。一部の学童保育クラブでは、児童館事業であるランドセル来館事業のご利用をお願いしながら、希望する学童保育クラブの空きをお待ちいただいている状況になっています。</p> <p>今後も引き続き、より一層適切な運営規模へ向けて施設整備も含め検討してまいります。短期間での解消は難しい状況です。</p> <p>児童館及び学童保育クラブの整備につきましては、区有施設の有効活用の考え方により、区有施設の見直し検討にあわせた複合化等を考慮に入れて検討してまいります。</p>

整理番号	枝番	区分	種別	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
2004	04-04	議会	メール	<p>③ 各家庭の収入にかかわらず、安心して子育てできる経済支援を行うこと。</p> <p>ア 2017年に予定される施設利用料の見直しでは、幼稚園・保育園・学童保育の保育料を値下げするとともに第2子からは免除すること。私立幼稚園の入園料補助を10万円以上に値上げすること。</p> <p>イ 就学援助は、生活保護費1.15倍の現基準を1.5倍に引き上げること。</p> <p>ウ 自己負担になっている小中学校の学校給食費は、無料にすること。</p> <p>エ 高校への無利子奨学金を拡大すること。大学進学に対する給付制奨学金制度を創設すること。医療・福祉分野への進学を応援する奨学資金を復活すること。</p>	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	子育て支援課、保育課、学校運営課	5	<p>ア 利用料について、当面は現行水準を維持しながら支援してまいります。国からの通知や他自治体の動向を参考に検討していきます。</p> <p>イ 就学援助の対象者は、生活保護等受給世帯及びそれに準ずる程度に困窮していると認められる世帯で、前年度所得額が生活保護基準の1.2倍以下の世帯としていますが、制度の趣旨を踏まえ、保護者間の負担の公平性の観点から現行基準を変更する考えはありません。</p> <p>ウ 給食費に関しては、学校給食法第11条第2項により保護者の負担としています。</p> <p>エ 高校への奨学金について、区では国の高等学校等就学支援金制度等を活用して私立高校等入学資金の貸し付けを無利子で行っております。その他の奨学金には、東京都で実施している無利子の東京都の育英資金、母子及び父子福祉資金などがあります。区では、高等学校授業料無償化などに伴う利用実績の減少や、国や東京都等で実施している奨学金制度の状況を踏まえ、大学等の奨学金制度はありませんが、各制度を紹介することで支援を行ってまいります。</p> <p>なお、医療・福祉分野への奨学金制度については、他の自治体の動向を踏まえ、調査・研究してまいります。</p>
2004	05	議会	メール	<p>「基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる」は、これまでの「住みたいまち」から「生活し続けられるまちをつくる」になったことは重要であり、子育て世帯の住宅対策をしっかりと計画してください。</p> <p>① 区営住宅を区独自に建設することと都営住宅の移管の計画を作成すること。</p> <p>② 東京都は17年間都営住宅の増設を行っていません。都に増設に取り組むよう強く求めること。</p> <p>③ ファミリー世帯家賃補助を子どもが18歳になるまで継続して使えるようにするなど拡充すること。</p>	【総合戦略】基本目標2 住み慣れた地域で生活し続けられるまちをつくる	住宅課	4	<p>区営住宅については、目黒区住宅マスタープランで定めて目標値にそって整備を進めております。都営住宅の移管計画は、今後策定される区有施設の見直し計画や住宅政策審議会での議論を踏まえて検討します。</p> <p>都営住宅の増設は東京都の所管事業になりますので、機会をとらえて都に伝えてまいります。</p> <p>ファミリー世帯家賃助成は平成27年度は募集数を70から90に増やし、抽選を行わず、応募資格のある世帯全てを審査対象としました。今後も子育て世帯への支援のため、更なる拡充について検討します。</p>

整理番号	枝番	意見内容(要旨)	分野	所管	対応区分	検討結果(対応策)
3001	01	スライドP31施策1(4)安定した住まいの確保について、目黒区としての具体的な対策はどうなっているか。総合戦略素案では、新しく結婚する若い人に対する家賃補助の記載がある。具体的にはどのような方法で、どの程度の規模で補助がなされるのか。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	住宅課	7	総合戦略素案P9(4)安定した住まいの確保のところに、ファミリー世帯家賃助成の記載があります。助成は中堅ファミリーを中心に、一定期間家賃を補助をするものです。継続事業となっており、今後も実施していきます。27年度は、募集数90世帯に対して応募数は136世帯で、審査の結果104世帯に助成決定しました。今後、拡充等を含めて検討していきたいと考えています。
3001	02	目黒区の施策の方向では、安心して結婚できるということが第一前提となっている。特に目黒区では若い方がどこに住むかが大きな問題となっているように思う。中堅ファミリーを対象ということだが、結婚している方や子育てをしている方を対象としているのか。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	政策企画課	7	国は総合戦略の中で東京への一極集中の是正を掲げています。今、都心部に人が転入し、都心部の人口は増加している一方で、地方の人口は減少している状況があります。国はそれを解消する施策目標を自治体に求めています。 目黒区は結婚しやすい環境をつくることは考えていますが、積極的に社会増を目的にしていくことはしていません。区民の希望出生率として1.50という数字が出ていますが、区としては、これをかなえていく施策を作っていきます。保育所の整備をつくるなど、子育てしやすい環境をつくっていく取組が大事ではないかと考えています。
3001	03	目黒区では女性の晩婚化が進んでいる。地方から人を呼び寄せるのではなく、住んでいる方の結婚率を高めるような施策を考えているのか。地方から都市へ人をいれるのではなく、目黒区に今住んでいる人に役に立つような施策があるのか。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	政策企画課	7	区としてもご指摘のとおりの方で進めていきます。結婚を望む目黒区民が結婚に踏み切る条件の整備が必要と考えています。 ただし、結婚の施策については難しい面もあります。地方では結婚機会を設けるようなケースもありますが、目黒区では直接的な意味で婚活イベントをやることは考えていませんが、そういうことができる環境をつくっていくことは大事だと考えています。
3002	01	基本目標の説明文に、子育てに対する事業者の理解も大事という記載がある。様々な分野が連携することは重要なことだと思う。しかし一方、今でも足りていない保育所の状況を考えたときに、区立保育園を事業者に任せて民営化することは、安心してこの街に住んで子育てをする意欲や希望を持つことにつながるだろうか。保育を必要とする人たちの何パーセントくらいを区立保育園で受け入れるのか。 子どもたちはきちんとした環境で保育を受ける権利を持っている。私立を含め保育環境をどのように保障するのか。民間の事業所とどのように連携していくのか、そのあたりの方針をもう少し詳しく教えてください。	【総合戦略】基本目標1 安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくる	保育計画課	7	公立私立に関わらず、認可保育所として、区と事業者が協力して、保育環境を保証していく考え方で取り組んでいます。 老朽化が進み建替えの時期となっている区立保育園を対象に、民営化することで、整備費や運営費に対する国や都の補助金を引き入れて、必要な施設更新を図っていくことが必要と考えています。 これによる財源の確保により、新園の施設整備等、必要な子育て支援策を推進していきたいと考えています。